

プレスリリース

2024(令和 6)年 1 月 16 日
一般社団法人 日本船舶電装協会

船舶電気装備技術者の資格検定試験に 138 名が合格

(一社)日本船舶電装協会は、2023(令和 5)年度の「船舶電気装備技術者資格検定試験」を、10月11日(水)から全国7カ所の会場において実施しました。その結果、受験者179名(対前年度比34名減)のうち138名(対前年度比34名減)が合格し、合格率は77.1%(前年度80.8%)でした。昨年度はコロナ禍の反動で受験者が増加しましたが、今年度は例年並みに戻りました。この資格検定試験は、船舶の電気装備技術者の育成と技術向上を目的としたもので、公益財団法人 日本財団の支援を受けて実施しています。

検定試験は、①船舶電装士②主任船舶電装士③船舶電装管理者④航海用レーダー整備士⑤航海用無線設備整備士の五つに分けて実施し、合格者には協会から電装技術者の資格者としての証明書が交付されます。

必要な施設、人員、実績等の要件を満たした電装事業場が、地方運輸局等から「船舶電気装工事を行う事業場」、「航海用レーダー等装備・整備事業場」又は「GMDSS 設備サービス・ステーション」の証明を受けた場合、船舶検査において自主検査の結果を国、日本小型船舶検査機構(JCI)等へ書面で提出し認められると、船舶検査官等による立会検査の一部が免除されます。この制度で、電装技術者の資格者は、必要な人員として認められています。

また、協会では、多くの資格者を育成できるよう、検定試験を受ける前提として船舶電気装備技術者講習(通信添削)を実施するとともに、さらに検定試験前日にも試験会場で「学習コーナー」を設け指導技師による直接指導を行っています。

2023(令和 5)年度の資格検定試験の概要

検定試験の種類	受験者数	合格者数
船舶電装士	62 名	55 名
主任船舶電装士	39 名	18 名
船舶電装管理者	4 名	3 名
航海用レーダー整備士	35 名	30 名
航海用無線設備整備士	39 名	32 名
全体	179 名	138 名
前年度	213 名	172 名